

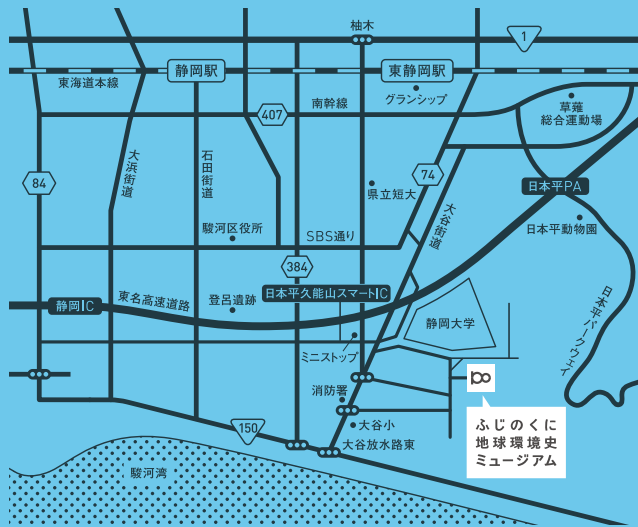
開館時間 | 10:00-17:30 (最終入館は17:00)
 休館日 | 毎週月曜 (月曜が祝休日の場合は次の平日。8/14は開館)
 12/27-1/3

tickets 常設展観覧料		
個人	団体 (20名以上)	学生(大学生以下)の方*1 70歳以上の方 障害者手帳をお持ちの方*2
300円	200円	無料

*1学生証、免許証、保険証等の証明書を御提示ください。
 *2身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
 その付添者1名は無料となります。
 展示室1・2、図鑑カフェ、キッズルームは無料で御利用いただけます。

access アクセス

- 《自家用車でお越しの場合》ナビでお越しの際は、住所で検索してください。
- 東名高速道路日本平久能山スマートICから5分
 - 東名高速道路静岡ICから15分
 - JR静岡駅から20分
 国道150号バイパスから「大谷放水路東」を左(右)折し、消防署前交差点を右折してください。
 - 駐車場 無料(200台、大型バス5台)
- 《公共交通機関でお越しの場合》
- 静岡駅北口バスターミナル
 8-B乗り場から美和大谷線「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き(約30分)終点下車



ふじのくに地球環境史ミュージアム
 〒422-8017 静岡市駿河区大谷5762(旧 県立静岡南高校)
 Tel:054-260-7111 Fax:054-238-5870
 E-mail:info@fujimu100.jp



Schedule スケジュール

2023.4-2024.3

特別展示等	2023												2024		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
企画展示室1			5/23-6/25 ミュージアムキャラバン展		7/15-10/22 知られざる富士山										
企画展示室2	-5/7 角の魅惑		5/23-6/25 収蔵品展 2023	7/1-9/3 牧野富太郎が 見つけた植物		9/9-10/22 第6回 ふじミュージアム写真展				11/11-3/24 イネ・米・田んぼ					
ホットピックギャラリー	4/4-6/4		6/6-8/6		8/8-10/9		10/11-12/3		12/5-2/4		2/6-3/31				
*ホットピックギャラリーでは、当館研究員の最新の研究成果や話題になっている出来事を紹介します。															
その他のイベント	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
季節のイベント	4/22-5/7 GWイベント				7/29-8/20 夏イベント		10/21-11/3 秋イベント		12/16-1/8 冬イベント			3/16-3/24 春イベント			



ふじのくに地球環境史ミュージアム

Museum of Natural and Environmental History, Shizuoka



豊かであるために
 百年後の静岡に



ふじミュージアムイベント

年間を通じて土日に、絵本の読み聞かせ、自然物を使ったペンダントやしおり作りなどのイベントを開催しています。事前予約は不要です。詳細はホームページをご確認ください。



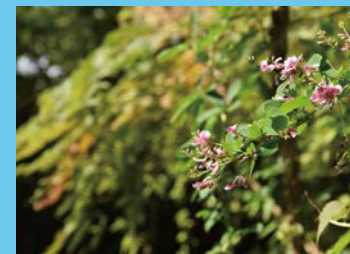
図書室

自然史に関する専門書や郷土の貴重な資料など約6万点の図書資料を所蔵しています。毎月第3日曜日に一般へ開放しており、資料閲覧ができるほか、ミニイベントも開催しています。



無料スペース

無料スペースとして、木のおもちゃが楽しめる「キッズルーム」のほか、自然史や地球環境史にまつわる図鑑を集めた「図鑑カフェ」を御利用いただけます。軽食やミュージアムオリジナルグッズ等を販売するミュージアムショップもあります。



自然観察路

—生物多様性のみち—

全長約400mの自然観察路内には300種以上の植物が育成し、たくさんの昆虫や野鳥が集まります。季節イベントでの利用のほか、毎月第3日曜日に一般への開放を行っています。

Photo: 竹田史

*展示、イベント、講演の名称や会期は変更する場合があります。 *企画展観覧券の前売り販売開始時期やイベント、講演の申込開始時期等は、ホームページやチラシで御案内します。
 *現在キッズルームは完全予約制です。WEB予約の上、ご利用ください。

2023.4 / 2024.3

ミュージアム年間スケジュール

企画展

1

ミュージアムキャラバン展

2023年5月23日【火】－2023年6月25日【日】

新キャラバン紹介

当館が2015年より県内各地の小学校などを中心に展開してきた移動展示「ミュージアムキャラバン」。これまで「魚の世界」「昆虫の世界」「化石の世界」「植物の世界」の4種類がありましたが、この度、さらに“静岡の食”をテーマにしたユニットが加わりましたので、本展で初公開します。この機会にぜひご覧ください。



静岡の豊かな“食”

企画展

2

収蔵品展 2023

2023年5月23日【火】－2023年6月25日【日】

ミュージアムには100万点を超える自然史資料が収蔵されており、展示されているものはほんの一部です。普段は公開していない標本や、新たに寄贈された標本から選りすぐりの逸品を紹介します。



レテノールモルフォ

講演

“天地に在りて、道を究める”

ふじミュ－に著名人来たる

ふじミュ－では、文化・芸術・スポーツなど各界の第一人者をゲストにお招きし、歌人の田中章義氏を聞き手として、ゲスト自身のライフスタイルや、持続可能な社会実現の鍵となる他者を慈しむ心のあり方について、お話をいただきます。



昨年度の様子

企画展

3

知られざる富士山

2023年7月15日【土】－2023年10月22日【日】

知られざる名峰のすがた

2013年6月22日のユネスコによる世界文化遺産登録から10周年の節目を迎える富士山。その知られざる魅力について、富士山の自然史標本を用いて紹介します。



日本平から望む富士山
(提供:熊本大学 宮緑教授)

企画展

4

牧野富太郎がみつめた植物

—植物標本が語るもの—

2023年7月1日【土】－2023年9月3日【日】



「日本の植物学の父」の生涯と実績
日本を代表する植物学者の故・牧野富太郎氏。「日本の植物学の父」と称される氏は、多くの新種植物を発見・記載し、日本の植物相解明に大きく貢献しました。本展示では、氏が採集した植物標本や直筆の手紙、原稿などを紹介し、その生涯と業績をたどります。

牧野直筆資料(提供:横須賀市自然・人文博物館)

日程 | 講師 | テーマ

- 5月13日【土】|| 風間 トオル(俳優) | おばあちゃんが遺してくれた生き抜く力
- 6月11日【日】|| 川内 優輝(陸上選手) | 地域貢献型プロランナーとして
- 7月16日【日】|| 吉田 隼人(プロゴルファー) | (調整中)

上記のほか、3名の方の講演を予定しています。
最新の日程・応募方法についてはホームページ
(右記の二次元コード)からご確認ください。



連続講座・地球環境史学
共通

※聴講には、常設展または企画展観覧券が必要です。

企画展

5

第6回ふじミュ－写真展 「山」と生きる

2023年9月9日【土】－2023年10月22日【日】

見つけよう! 伝えよう! ふじのくにの自然

ふじミュ－写真展は、皆様とつくる企画展です。今回は、第6回写真コンテスト(テーマ「山と生きる」、7月10日応募締切)への応募作品の中から入賞・入選した作品を展示、紹介します。多くの作品のご応募とご観覧をお待ちしています。コンテストの詳細は、ミュージアムHPをご覧ください。

写真は第5回ふじミュ－写真コンテストグランプリ受賞作品
テーマ〈しずおかを彩る自然と生き物〉



Jr.グランプリ
「希望」(竹下 晴太良)



一般グランプリ
「ご帰宅」(齋藤 成伸)

講演

オムニバス授業 “地球環境史学”

最新の知を手に入れよう

地球科学や生物科学の分野で活躍する研究者をお招きして、専門分野における最先端の研究成果をわかりやすく、深く、面白くお伝えします。



昨年度の様子

日程 | 講師 | テーマ

- 6月24日【土】|| 西村 剛(京都大学ヒト行動進化研究センター 准教授) | ワニはうなり、サルは歌い、ヒトはしゃべる
- 7月2日【日】|| 藤川 和美(高知県立牧野植物園 課長・研究員) | ミャンマーにおける植物多様性を探る -多様性の保全と持続的利用-
- 9月30日【土】|| 香月 興太(鳥根大学エスチュアリー研究センター 講師) | 南極湖沼堆積物からみた氷床後退とその後の環境変遷
- 日程未定 || 新村 芳人(宮崎大学農学部獣医学科 教授) | (調整中)

上記のほか、2名の方の講演を予定しています。
最新の日程・応募方法についてはホームページ(左記の二次元コード)からご確認ください。

※聴講には、常設展または企画展観覧券が必要です。



稲穂が実る田んぼ

企画展

6

イネ・米・田んぼ

2023年11月11日【土】－2024年3月24日【日】

かわる米、かえる米

私たちの主食として当たり前のようにそこにある米。そもそも野に生きていたイネが、どうして米を生む「稲」となったのでしょうか。そして、米をめぐる人々の営為の歴史は、地域の自然や文化にどのような影響を与えてきたのでしょうか。本展では、東アジアの稲作や米食文化に焦点を当て、「米とは何か?」を問い直します。